

宅地開発事業等に係る道路整備標準構造図

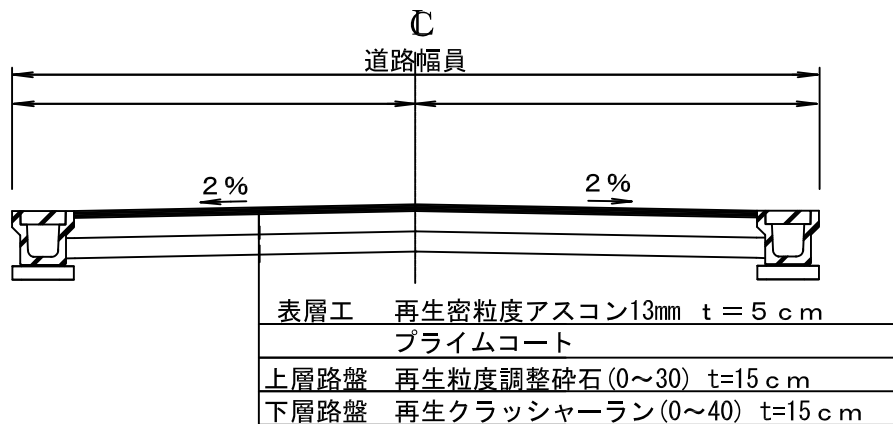
松戸市建設部

道路維持課

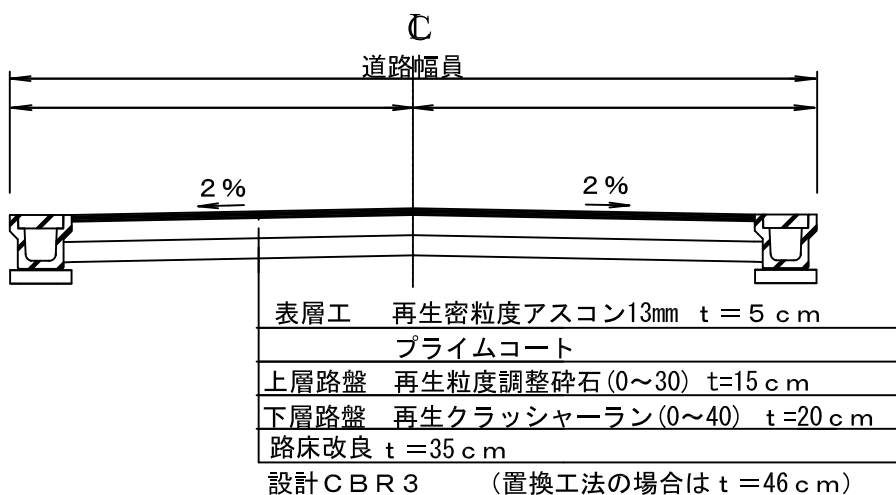
平成30年度

新設道路標準構造図

1. 良質地盤における舗装構成



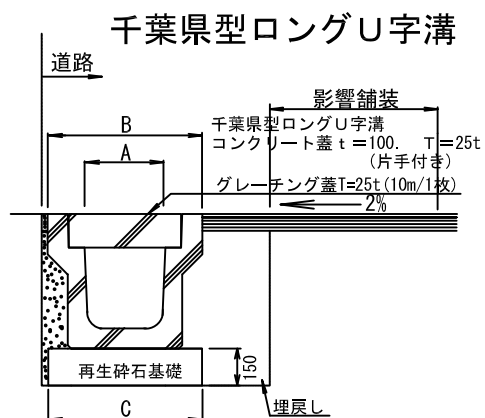
2. 水田地帯であった区域や盛土造成部等軟弱地盤における舗装構成



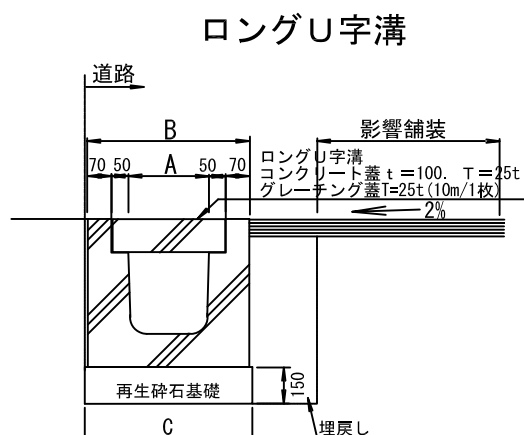
- ★舗装構成は原則として舗装設計施工指針に基づき決定するものとする
- ★道路の縦断勾配は9%以下とする(但し、止むを得ない場合に限り11%以下とすることが出来る)
- ★道路の縦断勾配が8%を超えるものについては、その前後に滑り止めを施すこと
なお、6%を超えるもので且つ北側斜線となる場合も同様とする(滑り止めは樹脂系滑り止めとする)
- ★側溝の排水勾配は5%以上確保すること
- ★不特定多数の車両が通過することとなる横断側溝は、ボルト固定式グレーチング蓋付き等とすること
- ★交通安全上必要と認められる場合は、ガードレール、カーブミラー等適切な施設を設置しなければならない

排水構造物等

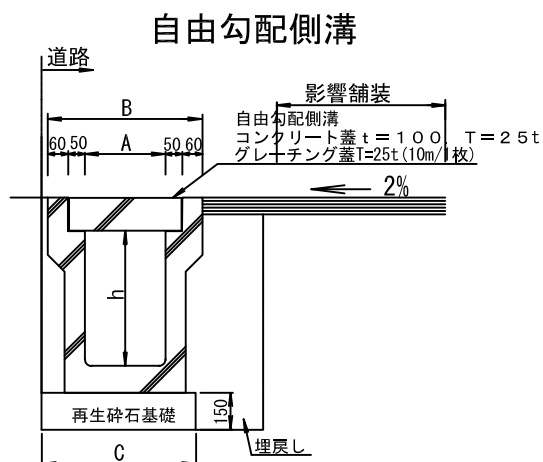
- ・埋戻しについては、「松戸市管理道路の道路復旧構造・範囲並びに埋設占用物の深さ等の基準」による。
- ・道路横断面部に側溝を布設する場合の基礎は、コンクリート基礎 $t=100$ 、再生砕石基礎 $t=100$ とする。



形式・寸法	A	B	C
240×240	240	460	460
300×300	300	510	510
その他	別	途	



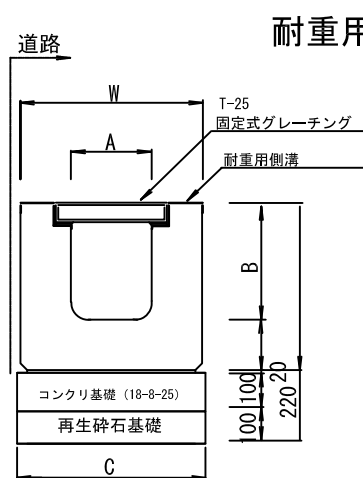
形式・寸法	A	B	C
240×240	240	480	500
300×300	300	510	550
その他	別	途	



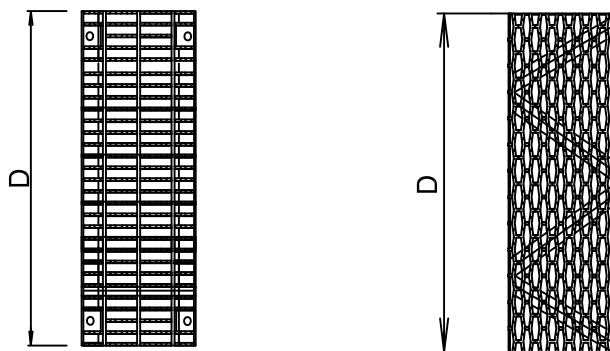
形式・寸法	A	B	C
240×h	240	460	460
300×h	300	520	520
その他	別	途	



形式・寸法	A
240×240	330
300×300	390
その他	別

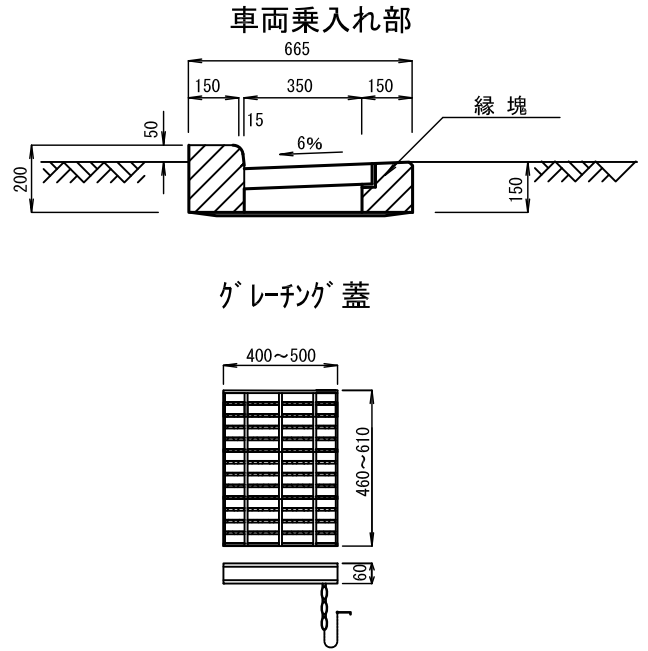
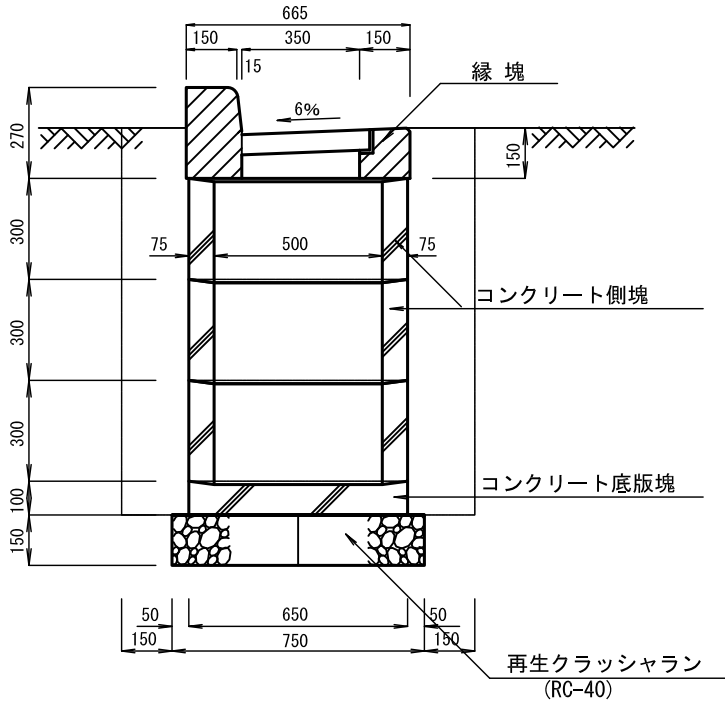


固定式グレーチング蓋 (参考図)



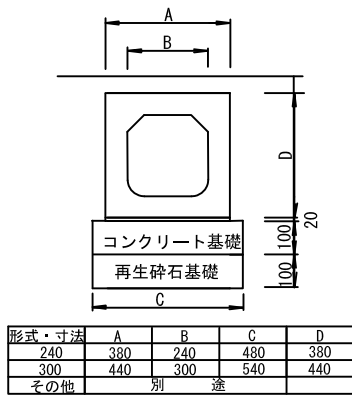
形式・寸法	A	B	C	D	E	F
240	240	340	W+20	995		
300	300	400	W+20	995		
その他	別	途				

街渠柵

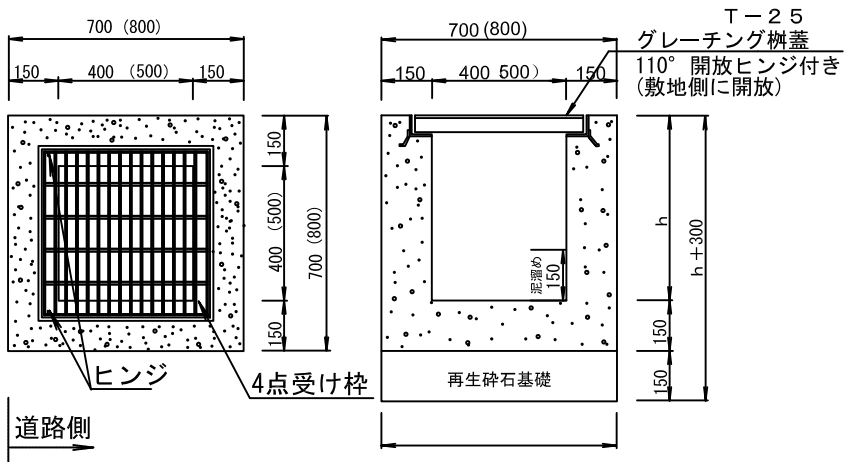


※ 寸法は、参考値です。

ボックス暗渠 (T-25)

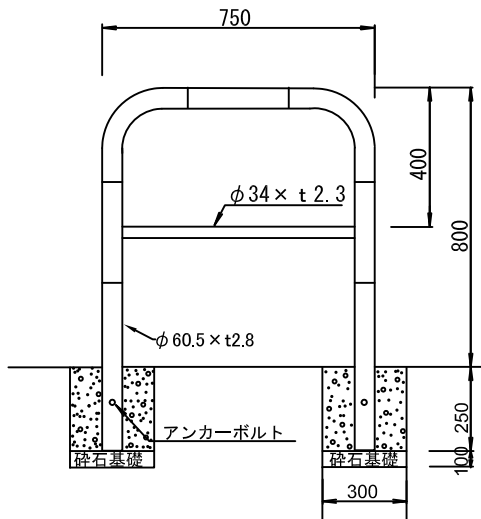


集水柵



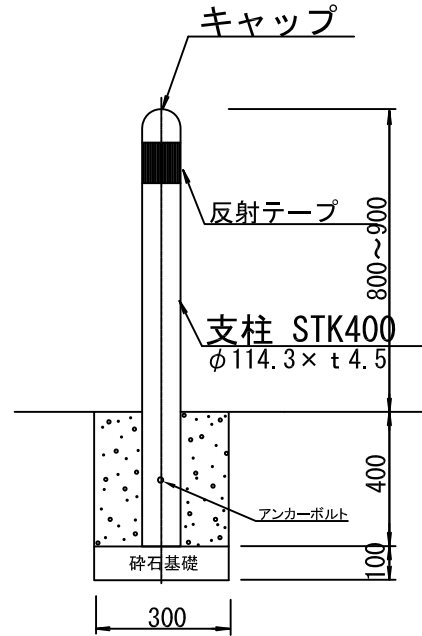
交通安全施設

車止め



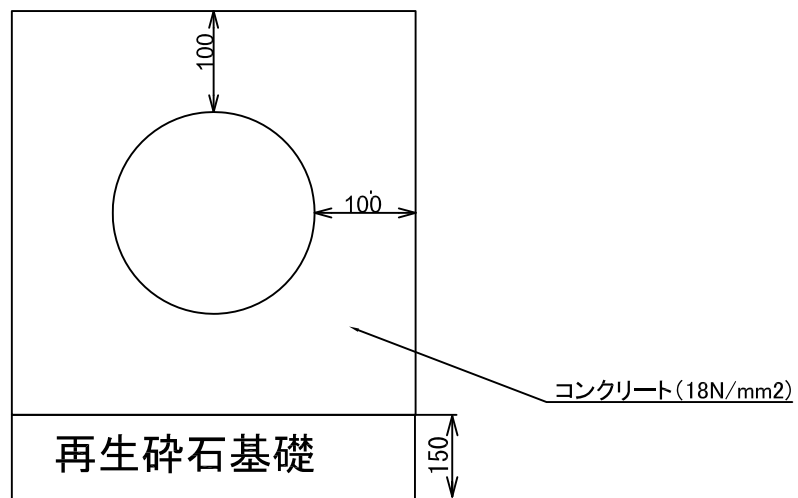
・ 適宜、反射テープを貼付

車止め



コンクリート360° 基礎構造図

口径300未満

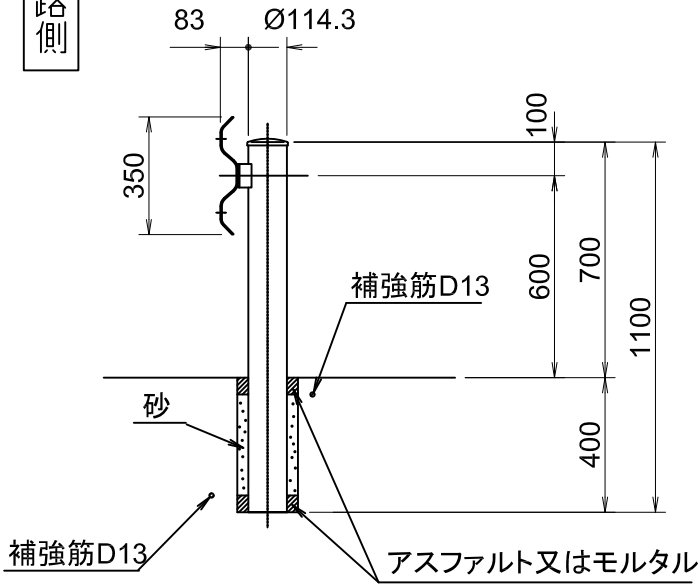


路側用ガードレール

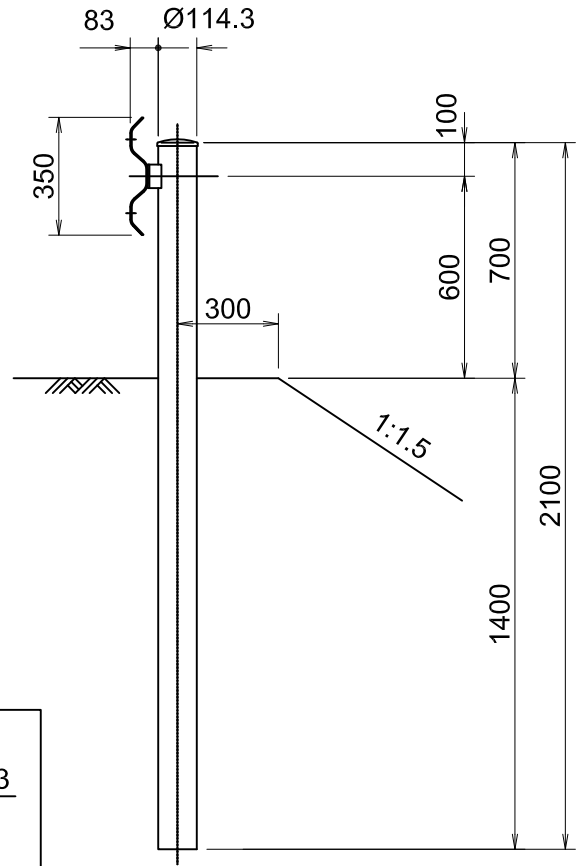
土中建込用

道路側

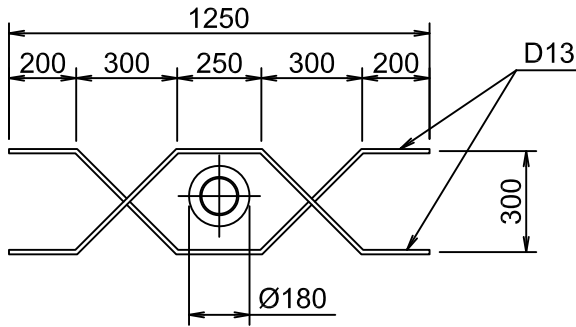
コンクリート建込用



道路側



配筋

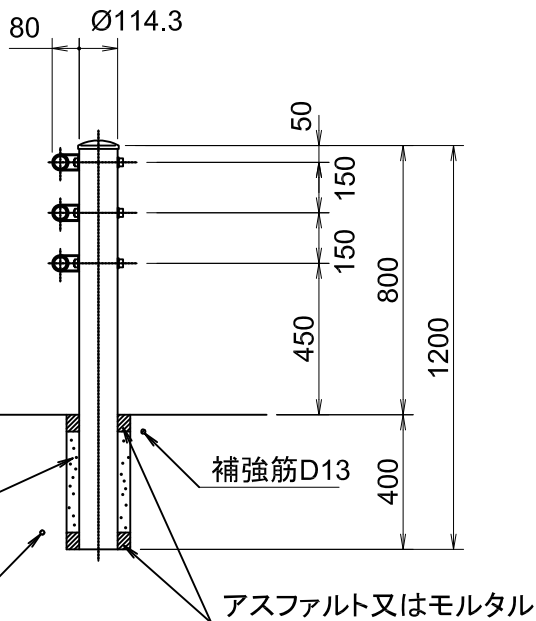


土中建込用

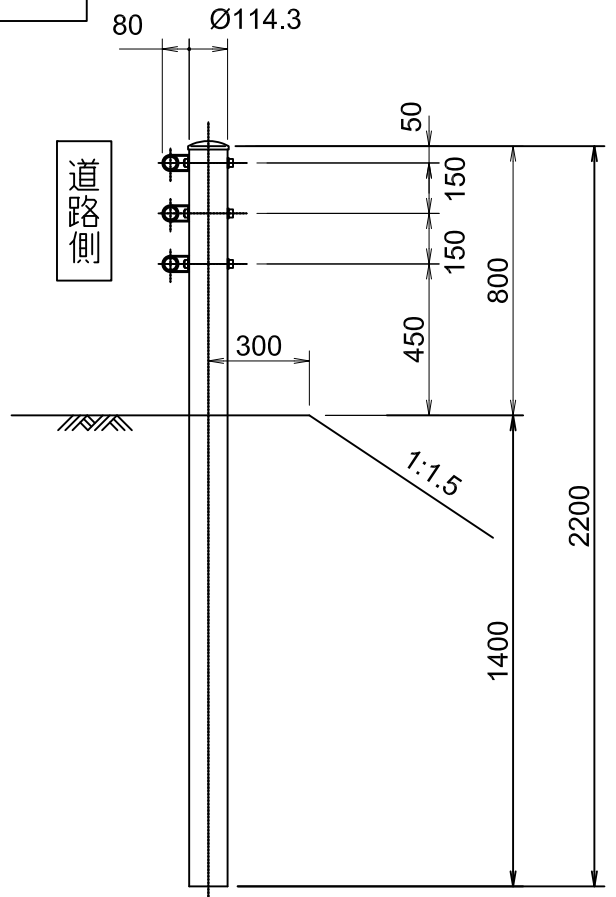
路側用ガードパイプ

コンクリート建込用

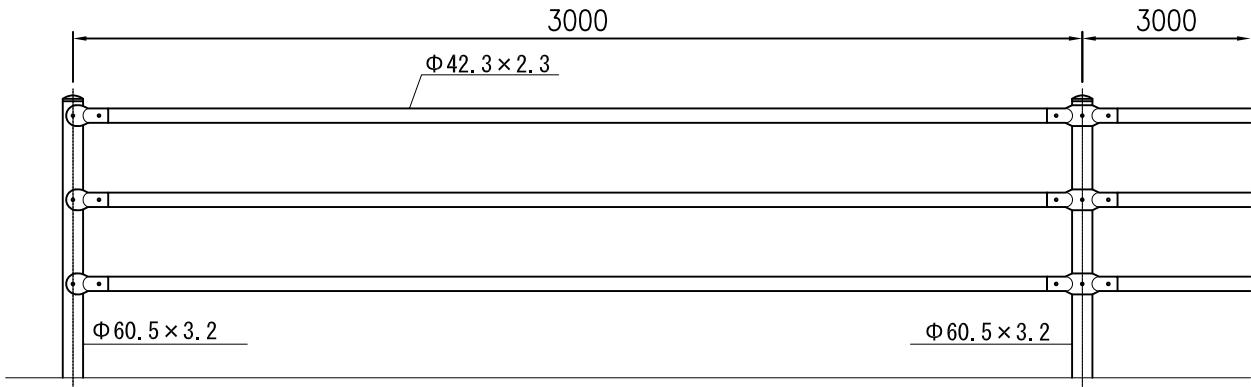
道路側



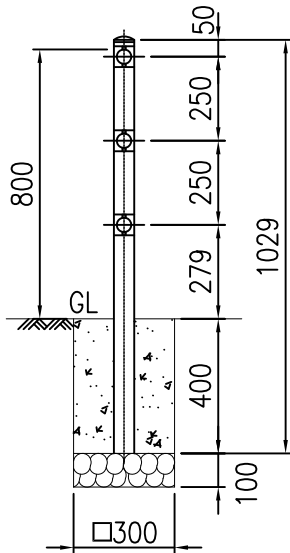
道路側



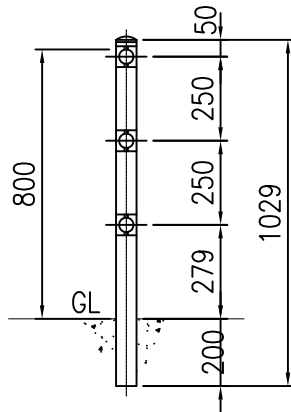
横断防止柵



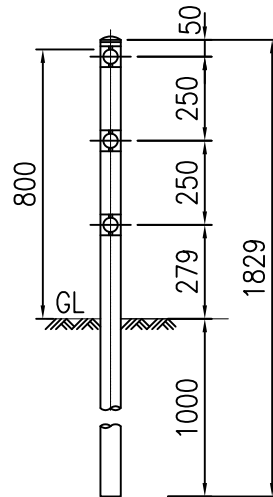
独立基礎用



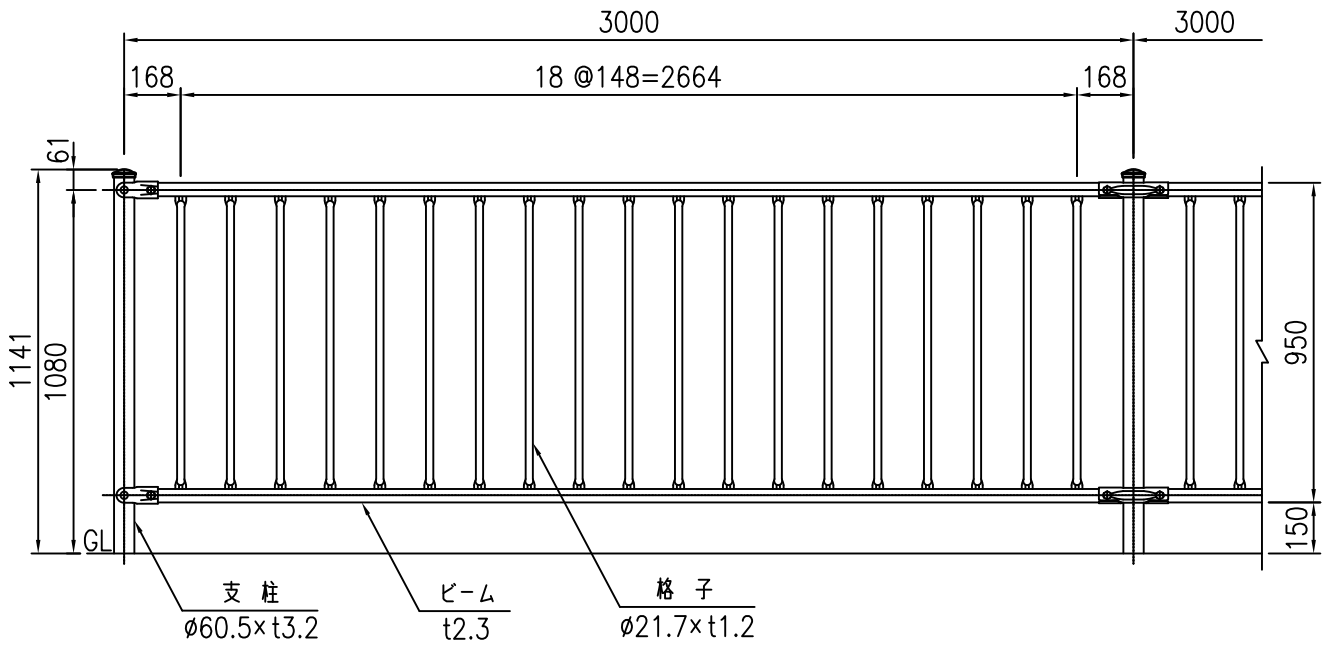
コンクリート建込用



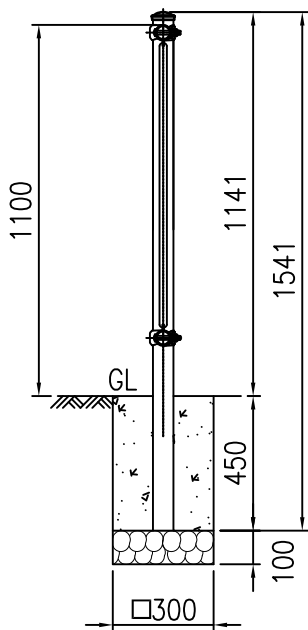
土中建込用



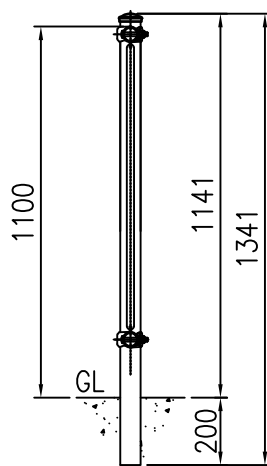
転落防止柵



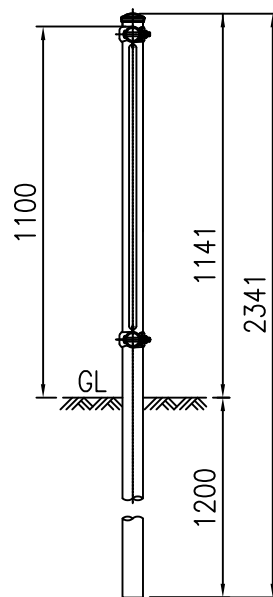
独立基礎用



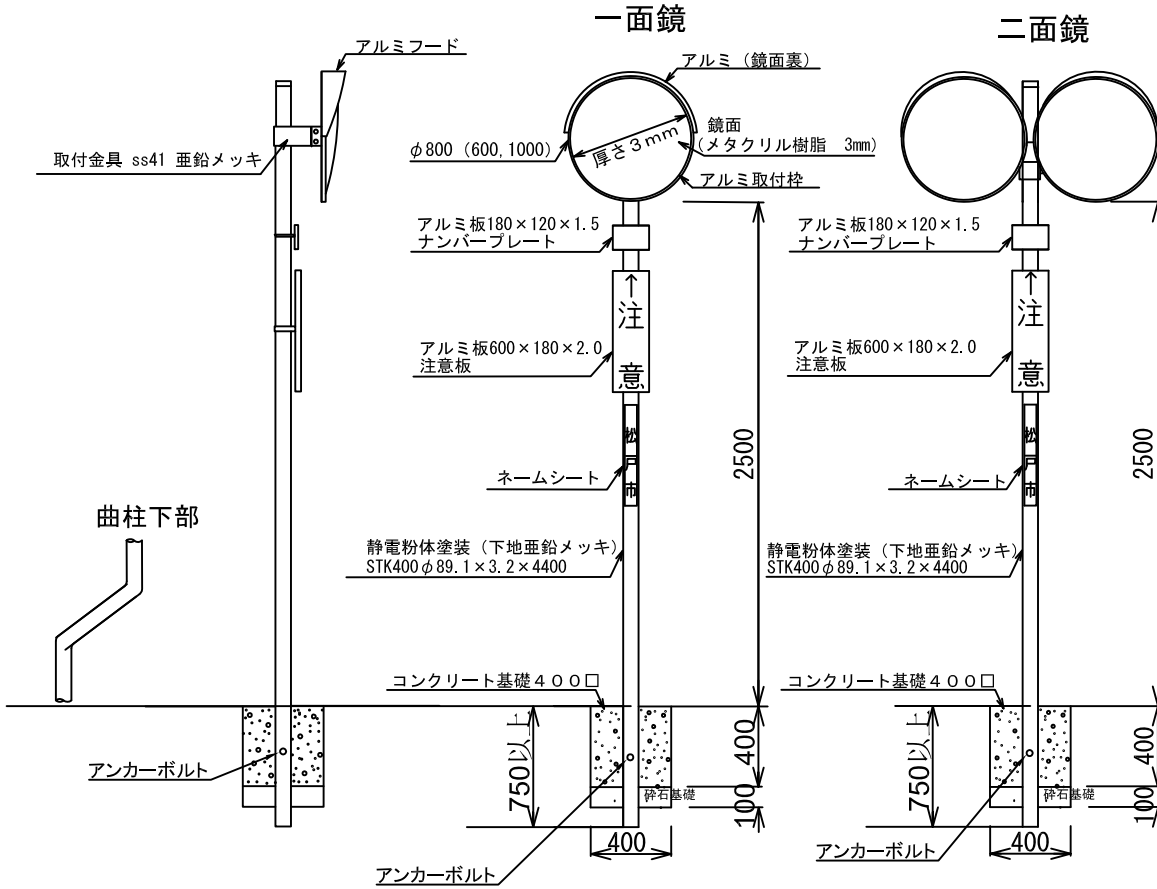
コンクリート建込用



土中建込用

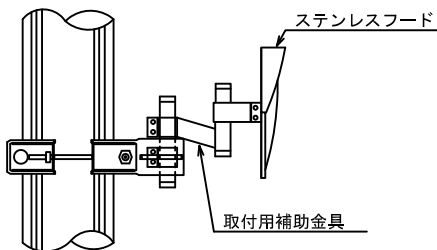


カーブミラー

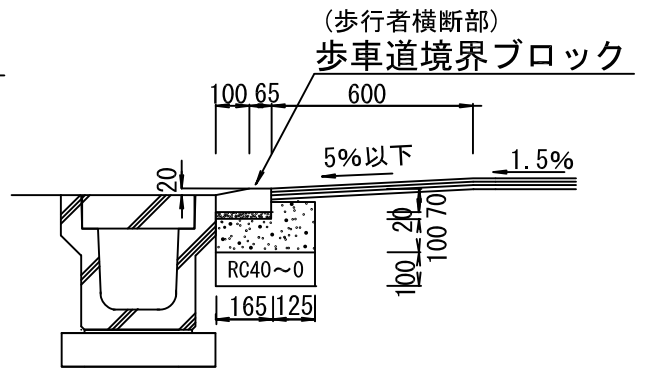
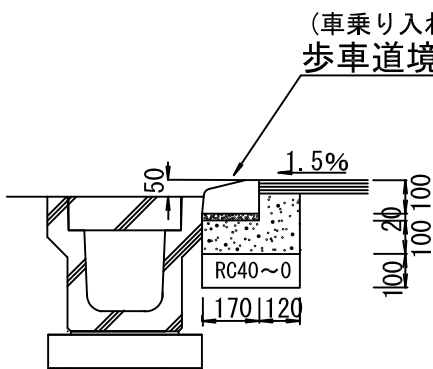
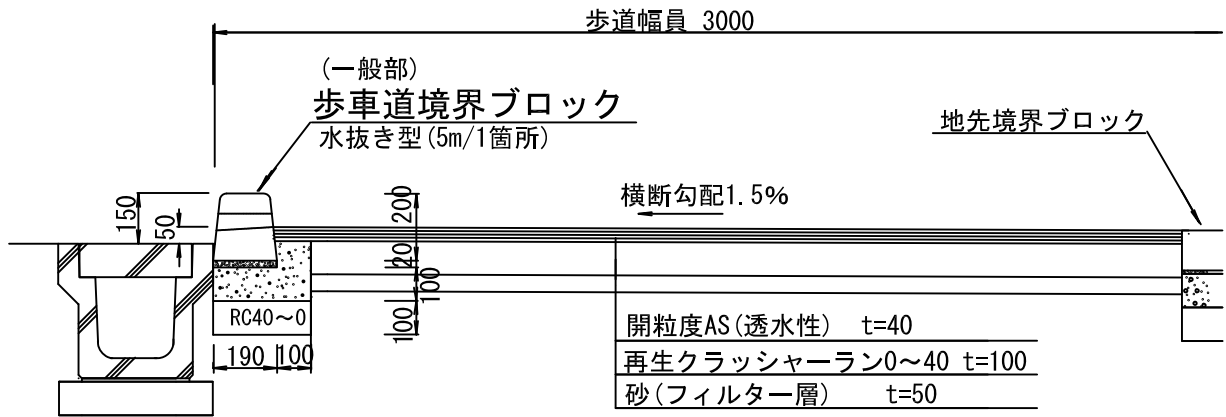


- ・ ナンバープレート及び松戸市ネームシートは松戸市が設置する

【 共架型 】



新設歩道標準断面図



歩道舗装標準構造図

1. 一般部

再生クラッシャーラン
砂
開粒度AS（透水性） t = 4 cm
再生クラッシャーラン（0-40） t = 10 cm
砂（フィルター層） t = 5 cm

2. 車両出入り口部（車両の出入が比較的少ない箇所）

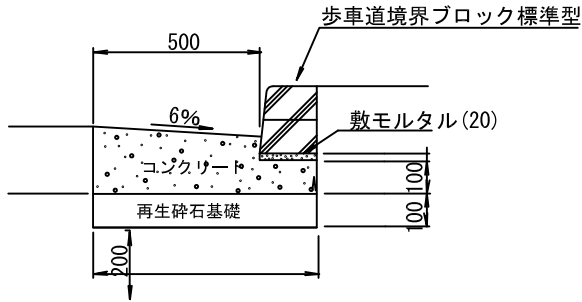
再生粒調碎石	プライムコート
再生クラッシャーラン	
密粒度AS（再生） t = 5 cm	
再生粒調碎石（0-30） t = 10 cm	
再生クラッシャーラン（0-40） t = 15 cm	

3. 車両出入り口部（不特定多数の車両の出入庫がある箇所）

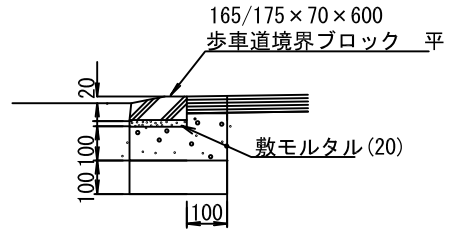
再生粒調碎石	タックコート
再生クラッシャーラン	
	プライムコート
密粒度AS（再生） t = 5 cm	
粗粒度AS（再生） t = 5 cm	
再生粒調碎石（0-30） t = 10 cm	
再生クラッシャーラン（0-40） t = 15 cm	

歩車道境界ブロック

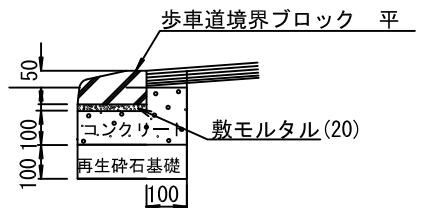
マウントアップ型



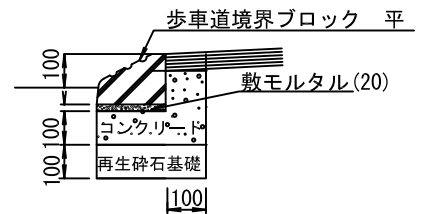
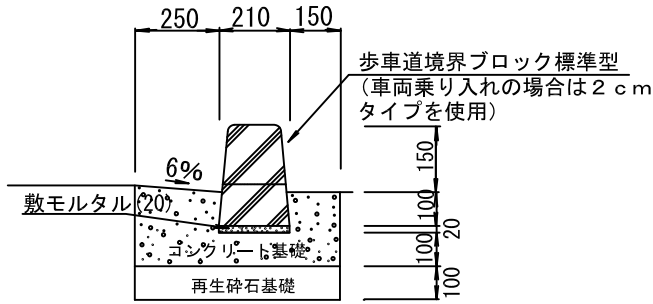
歩行者横断用



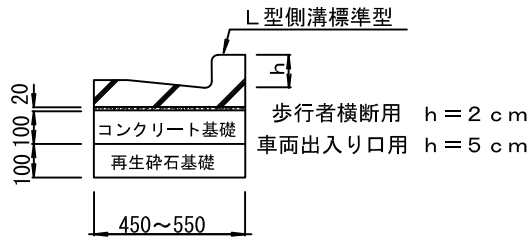
車両乗り入れ用



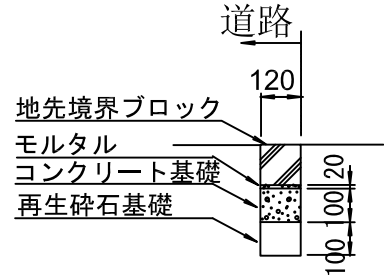
フラット型



L型側溝



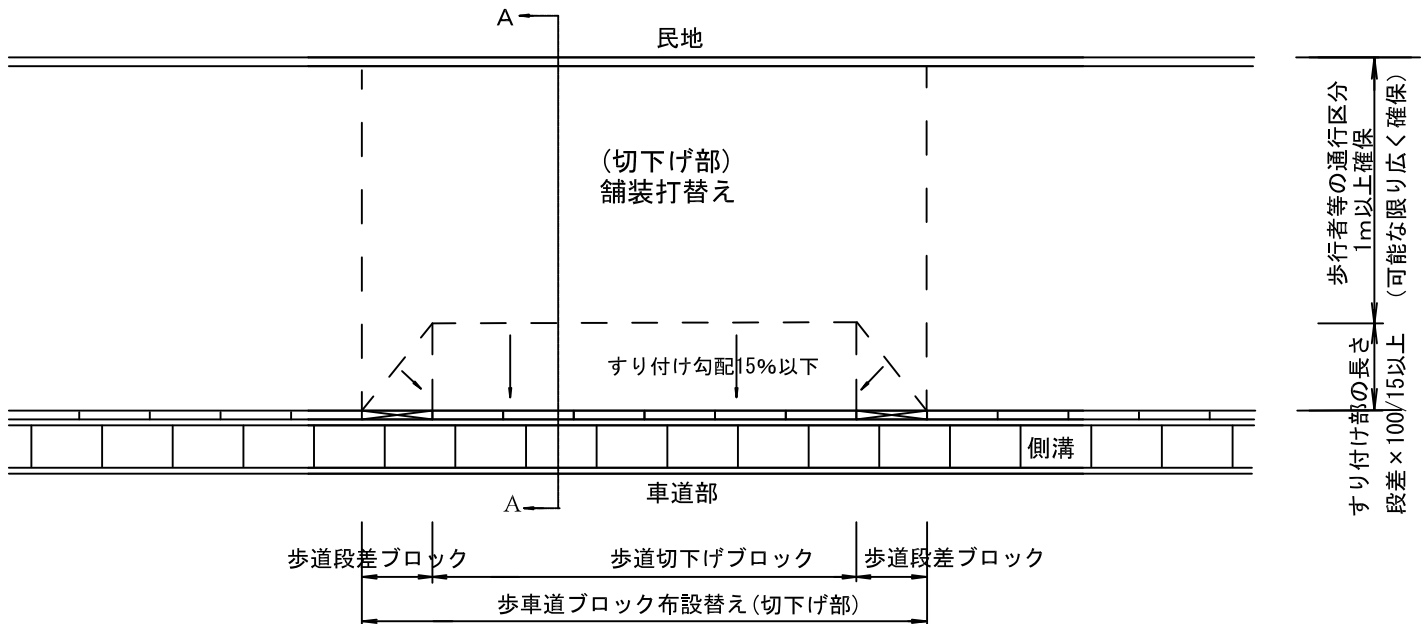
地先境界ブロック



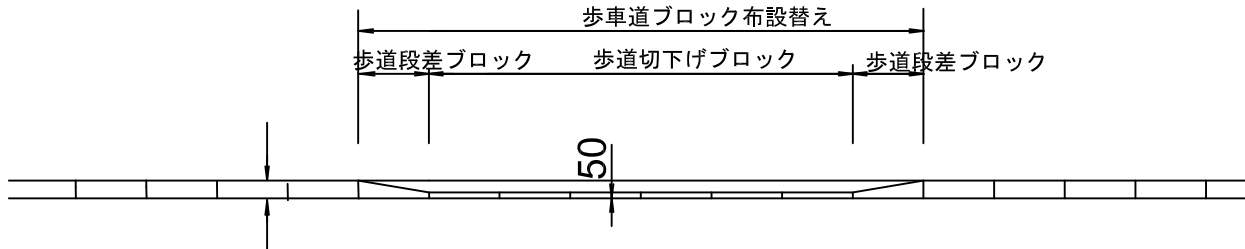
マウントアップ形式の歩道での車両乗入れ構造（歩道切下げ）

① 歩道内においてすり付けを行う構造

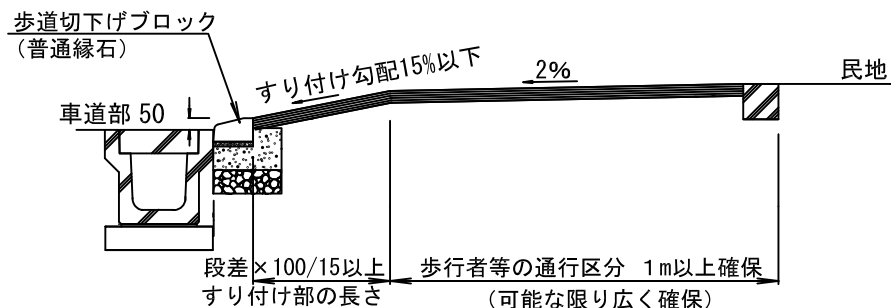
平面図



正面図



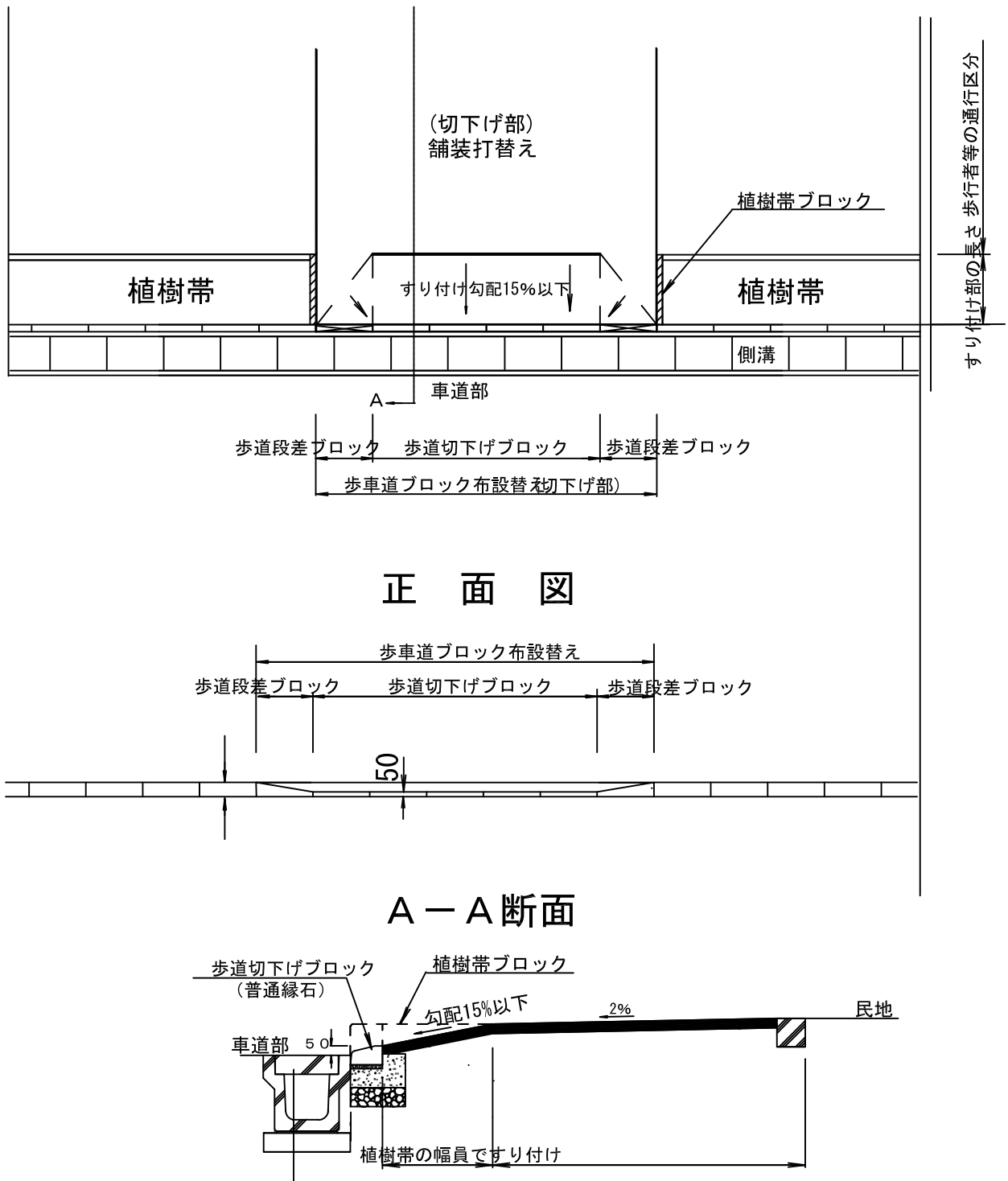
A-A断面



(注)

- ・特殊縁石を使用する場合のすり付け勾配は10%以下とする。
(普通縁石は段差5cm、特殊縁石は段差8~10cm)
- ・車道部の側溝形態が上図と異なる場合や歩道側溝が有る場合等不明な点がございましたら、道路維持課窓口でお尋ねください。

② 植樹帯等の幅員を活用してすり付けを行う構造 (植樹帯の幅員内ですり付けを行う場合)



(注)

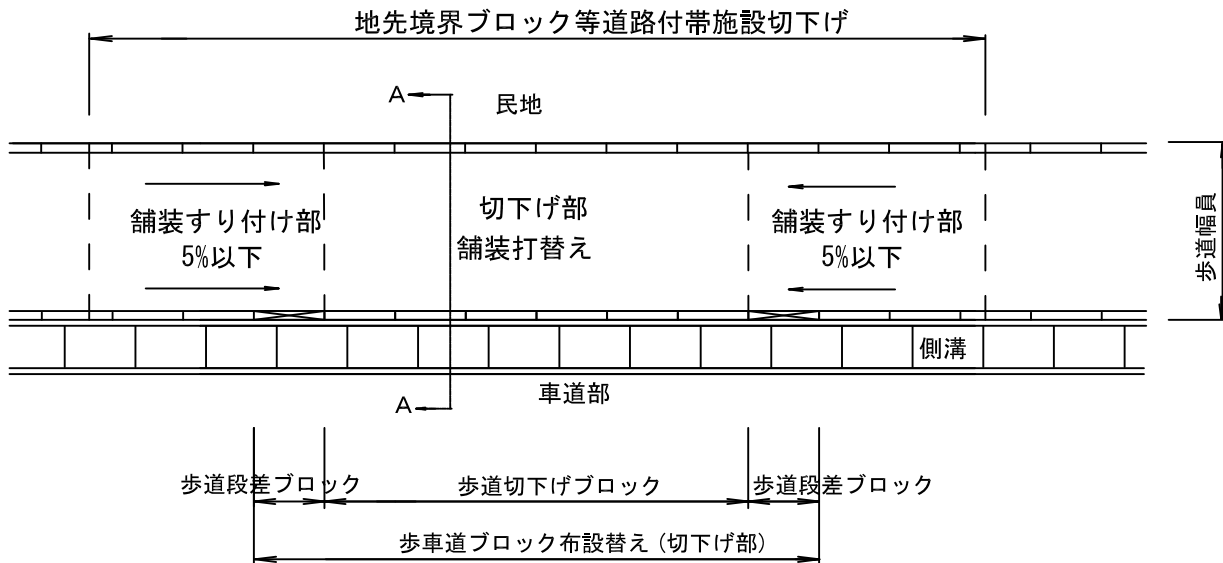
- ・特殊縁石を使用する場合のすり付け勾配は10%以下とする。
(普通縁石は段差5cm、特殊縁石は段差8~10cm)
- ・車道部の側溝形態が上図と異なる場合や歩道側溝が有る場合等不明な点がございましたら、道路維持課窓口でお尋ねください。
- ・植栽の移植については、別途申請が必要です。(みどりと花の課)

マウントアップ形式の歩道での車両乗入れ構造（歩道切下げ）

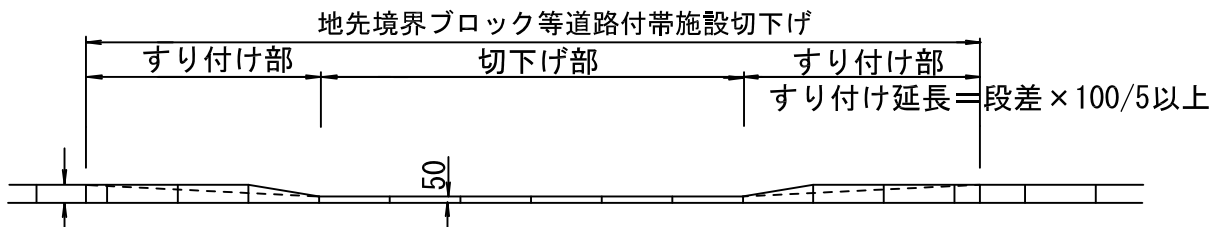
③ 歩道の全面切下げを行う構造

（歩道幅員が狭い場合）

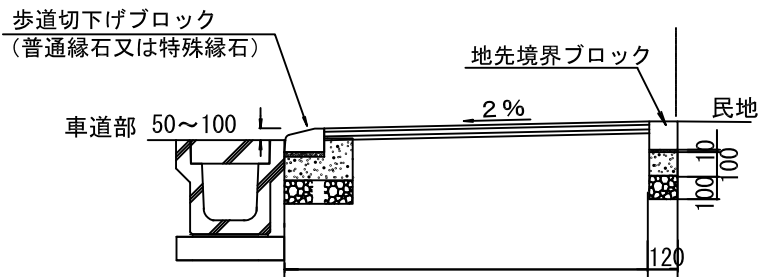
平面図



正面図



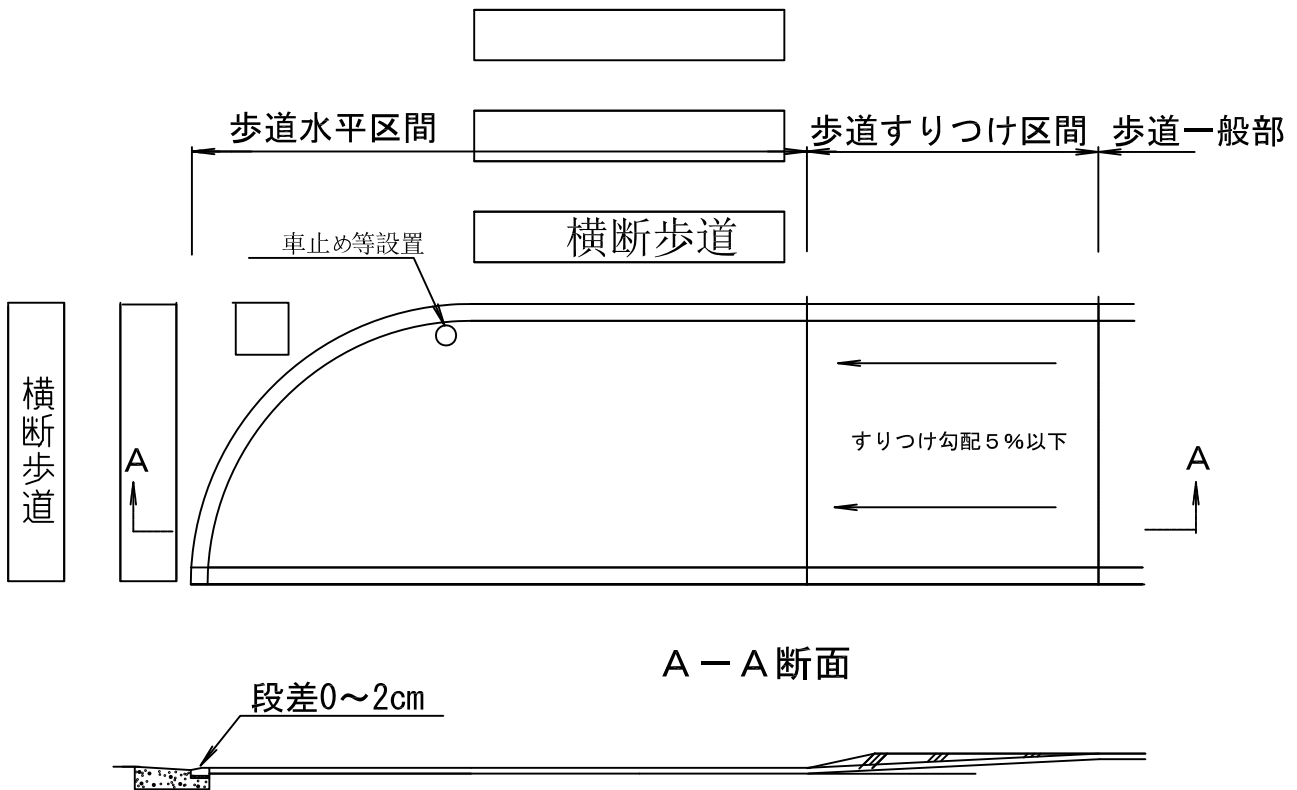
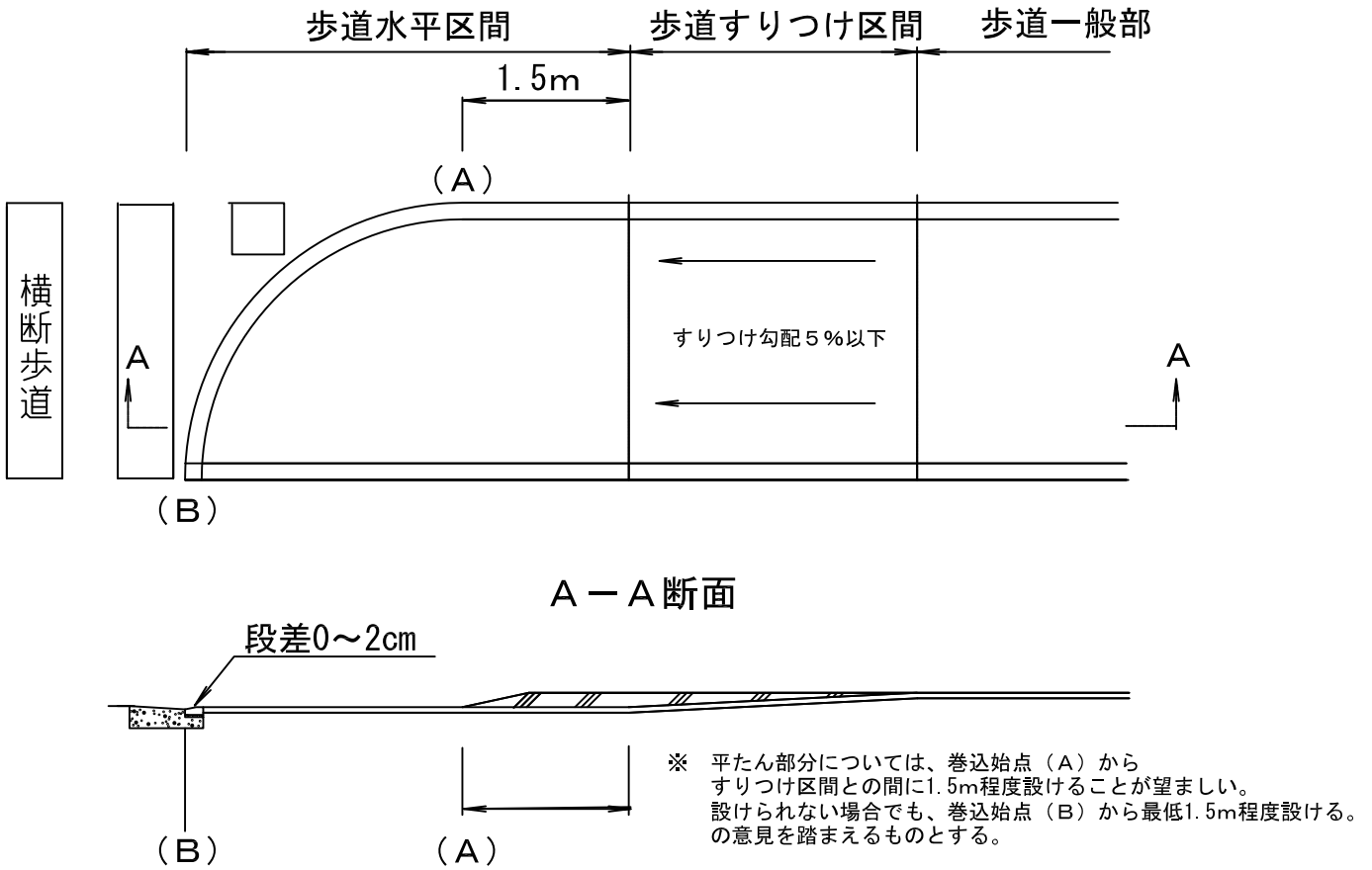
A-A断面



（注）

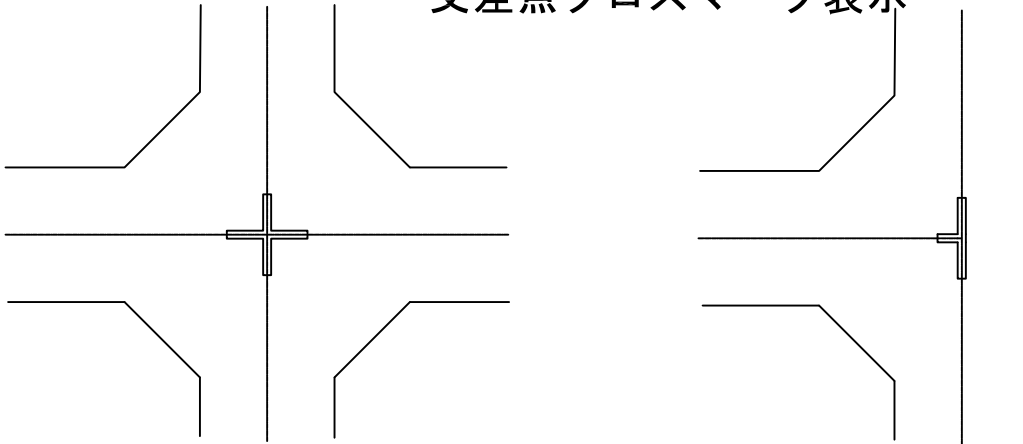
- ・ 車道部の側溝形態が上図と異なる場合や歩道側溝が有る場合等不明な点がありましたら、道路維持課窓口でお尋ねください。
- ・ すり付け勾配については、やむを得ない場合は8%以下とすることができる。
- ・ 歩道全面切下げに伴い、敷地に接する地先境界ブロック等の道路付帯施設についても切下げが必要となります。

横断歩道等に接続する歩道部分の構造

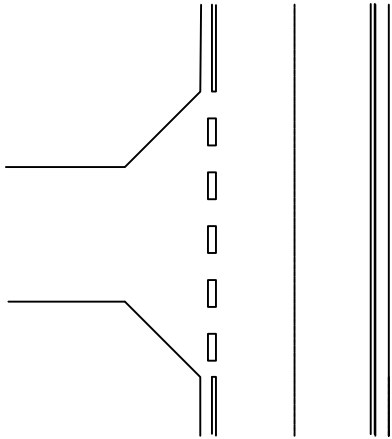


路面標示

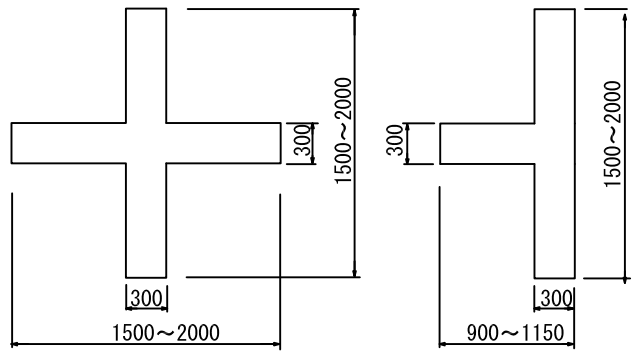
交差点クロスマーク表示



ドッドライン表示



標準寸法図



縞模様

$w1=150\sim 200$
 $w2=300\sim 450$
 $w3=100\sim 150$
 $a=30^\circ$ 40°
 又は 90°

